

国分川調節池整備基本計画

市川市の北西部で千葉県が建設を進めている国分川調節池は、真間川流域の総合治水対策事業の一環として、国分川と春木川の洪水軽減を目的とした治水施設です。

国分川調節池（面積約24ha、東西に約100～300m、南北約1200m、時間雨量50mm対応、調節容量303,000m³）を、平常時は市に残された貴重なオープンスペースとして、地元市民の方々が愛着を持ち、憩えるような水辺空間として創出するべく、平成13年度より地元自治会を中心に、近隣小中学校、学識経験者、県、市で市民参画による整備計画の検討が行われ、整備基本計画が策定されました！

国分川調節池整備テーマ

人と生き物の輝く池を次の世代に手渡そう！

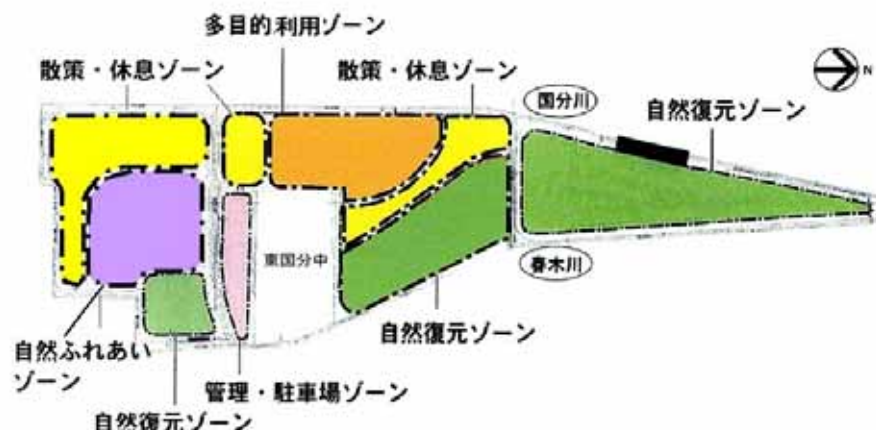
整備基本方針

- 1) 地域を洪水の被害から守り、治水に対する理解を深める
- 2) ふるさとの自然を復元し、子どもたちや次の世代へと伝える
- 3) 人と人、人と自然のふれあいを育む
- 4) 緑豊かな木々に彩られた、雄大で多様な水辺の風景をつくる
- 5) イベントや運営への参加を通じて、国分川調節池への愛着を育む

ゾーニング

ゾーン名	ゾーンの概要	導入施設等（案）
自然復元	多様な生き物の生息空間となる内陸湿地や林の復元を図る区域	水面、湿地林、ヨシ原、観察施設等
自然ふれあい	子ども達が自然の中で自由に活動し、ふるさとの生き物に触れ合える区域	トンボ池、湿地林、湿地等
散策・休息	自然に囲まれながら散策や休息が出来る区域	原っぱ、疎林広場、休憩施設等
多目的利用	日常の運動やイベントなど様々な利用が出来る区域	原っぱ、スポーツ広場等
管理・駐車場	駐車場や管理施設を配置する区域	管理施設、駐車場、トイレ等

ゾーニング図



この図はイメージであり、実際の配置、距離、面積とは異なります。

市民参加の計画づくり

約24haという市内に残された貴重な水辺空間を、平常時に市民の方々に親しまれるような上部利用を図るために、平成13年度10月に学識経験者，地元自治会長，市民団体，近隣小中学校長，行政で構成される『国分川調節池整備検討委員会』が発足され、さらに地元を中心とした地域のニーズをより反映させるための組織として『国分川調節池を考える会』を発足しました。

考える会は、全市民を対象とした市民参加型のワーキング組織として、平成13年11月から8回開催され、整備に関する基本的な事項について検討を行ってきました。

その案を、上部機関である整備検討委員会へ諮り、平成15年3月に整備基本計画として取りまとめました。

整備基本方針（詳細）

1) 地域を洪水の被害から守り、治水に対する理解を深める

- ・洪水の危険から地域を守る治水機能を確保する。
- ・日常の利用により、治水の重要性を知り、興味を育む場、一人ひとりの取り組みかたを知る場とする。

2) ふるさとの自然を復元し、子どもたちや次の世代へと伝える

- ・自然ネットワークの大拠点となる豊かな自然を復元する。
- ・さまざまな生き物を育む、多様な環境を復元する。
- ・川の水質改善など、自然のもつ機能を発揮させる

3) 人と人、人と自然のふれあいを育む

- ・子どもたちが、ふるさとの自然と自由にふれあえる場とする。
- ・懐かしさを感じる風景の中で、穏やかに過ごすことのできる場とする。
- ・子どもから高齢者等まで、世代を越えた様々な人々の交流の場とする。

4) 緑豊かな木々に彩られた、雄大で多様な水辺の風景をつくる

- ・市川の原風景を感じる場とする。
- ・周辺から見える緑を増やし、住環境の向上に役立てる。
- ・自然と調和する施設整備を行う。

5) イベントや運営への参加を通じて、国分川調節池への愛着を育む

- ・市民の知恵と経験を活かしつつ、市民と行政のパートナーシップに基づく管理を行う。
- ・管理費用の抑制に配慮した整備を行う。